

# 西 昭夫先生略歴および著作目録

## 学 歴

- 昭和26年 3月 鹿児島県笠沙高等学校卒業  
昭和28年 3月 鹿児島大学教育学部初等教育科修了  
昭和39年 3月 日本大学文理学部心理学科卒業  
昭和39年 4月 日本大学大学院文学研究科心理学専攻修士課程入学  
昭和41年 3月 日本大学大学院文学研究科心理学専攻修士課程修了（文学修士）  
昭和41年 4月 日本大学大学院文学研究科心理学博士課程入学  
昭和44年 3月 日本大学大学院文学研究科心理学博士課程単位取得満期退学

## 職 歴

- 昭和28年 4月 鹿児島県笠沙町立笠沙小学校教諭  
昭和35年 3月 鹿児島県笠沙町立笠沙小学校教諭退職  
昭和44年 4月 千葉商科大学専任講師  
昭和44～46年 東洋英和女学院短期大学兼任講師（心理学担当）  
昭和47年 4月 千葉商科大学助教授  
昭和50～51年 東洋英和女学院短期大学兼任講師（心理学担当）  
昭和52年 4月 千葉商科大学教授（心理学・教育心理学担当）  
昭和54～55年 在外研究員として短期留学  
・スタンフォード大学（アメリカ）  
・ヴェールツブルク大学（西ドイツ）  
昭和57～平成2年 3月 東洋英和女学院短期大学兼任講師（心理学担当）  
平成2～15年 3月 東洋英和女学院大学兼任講師（青年心理学担当）  
平成2～4年 千葉商科大学一般教育センター主任

平成15年 3 月 千葉商科大学商経学部教授定年退職  
平成15年 4 月 千葉商科大学商経学部非常勤講師  
平成15年 4 月 千葉商科大学名誉教授

## 学 位

昭和41年 3 月

日本大学より文学修士の学位を授与される。

## 所属学会及び団体

昭和44年～現在 日本心理学会会員  
昭和58年～現在 心理臨床学会会員  
昭和60年～現在 日本相談学会会員  
平成12年～ 日本教育カウンセラー協会会員

## 学会・社会活動及び表彰

昭和28年 3 月 小学校教諭 2 級普通免許状  
昭和28年 3 月 中学校教諭 2 級普通免許状 (理科)  
昭和49年～現在 東京都大田区区民大学講師 (人間関係論担当)  
昭和60年～現在 東京都総合技能開発研修所講師 (カウンセリング担当)  
昭和60年～現在 厚生省関東信越地方医務局指導課研修講師 (カウンセリング担当)  
昭和61年～ 神奈川県労働福祉課, 職場カウンセリング講師  
昭和62年～ 福岡県教育センター講師 (教育カウンセリング)  
昭和62年～ 東京都立教育研究所, 学校カウンセリング担当講師  
昭和62年～ 東京都中野区教育委員会, 教育カウンセリング講師  
平成元年～ 静岡市教育委員会, カウンセリング研修講師  
平成元年 5 月22日 永年勤続表彰 (20年)  
平成元年10月～ 朝日カルチャセンター (千葉) 講師  
平成元年～ 東京都教育庁人事部職員課講師

平成元年～	東京都福祉局指導部福祉研修課講師
平成元年～	日本生産性本部講師
平成元年～	東京都福祉人材センター講師
平成元年～	東京都田無市教育委員会教育指導部講師
平成2年12月19日	天皇陛下御即位記念式典に招待さる（出席）
平成3年4月～	静岡県立教育研修所，教育相談部顧問
平成3年10月～	千葉県自治センター講師
平成3年4月～	横浜市教育センター講師
平成3年～	横浜市教育委員会私学振興課講師
平成3年～	横須賀市職員部事務管理課講師
平成4年4月～	東京都台東区立教育研究所講師
平成4年4月～	香川県立教育研究所講師
平成4年4月～	千葉県総合教育センター講師
平成4年～	人事院人事課講師
平成4年～	東京都江東区生涯学習課講師
平成4年～	埼玉県教育局指導部講師
平成5年～	千葉県教育庁社会教育課講師
平成5年～	埼玉県南教育センター講師
平成5年～	鳥取県教育相談研修講師
平成6年～	千葉県職員研修所講師
平成7年8月～	福島市教育センター講師
平成8年10月～	青森県総合教育センター講師
平成10年10月～	よみうり・日本テレビカルチュアセンター（金町）講師
平成10年～	神奈川県管理局総務部人事班講師
平成11年4月14日	永年勤続表彰（30年）
平成11年12月4日	私立学校教育功労表彰
平成11年9月～	特許庁講師
平成12年10月	教育カウンセラー資格取得（上級）
平成13年8月～	教育カウンセラー養成講座講師

平成13年10月～ 郵政大学校教官研修講師  
平成14年 5月～ 茨城県新任教員研修講師

## 西 昭夫 先生著作目録

(著書)

### 1. 単 著

昭和46年 6月 行動とその周辺 現代情報社  
昭和48年 5月 心理 福村出版

### 2. 共 著

昭和48年 7月 心理学 啓明出版  
昭和50年 9月 研究開発活動の効率化に関する調査 科学技術と経済の会社  
研究  
昭和52年 2月 R & Dモチベーションノーハウブッ 科学技術と経済の会社  
ク (I, II)  
昭和52年 4月 心理学序説 福村出版  
昭和53年 4月 教育心理学序説 福村出版  
昭和59年 5月 心理学THEORY & EXERCISE 福村出版  
平成 2年 6月 カウンセリング辞典 誠信書房  
平成 4年11月 構成的グループ・エンカウンター 誠信書房  
平成 9年 9月 スクールカウンセリング事典 東京書籍

### 3. 論 文

昭和45年12月 行動主義心理学と価値理論 (I) 千葉商大論叢  
昭和46年 9月 行動主義心理学と価値理論 (II) 千葉商大論叢  
昭和50年 2月 時間とその認識の発達 日本印刷技術協会社  
昭和50年10月 創造性と行動 化学工業社(株)  
昭和51年12月 心理学における価値の研究 千葉商大紀要  
昭和52年 3月 モチベーション要因に関する研究 千葉商大紀要  
(I)

昭和52年 6 月	モチベーション要因に関する研究 (Ⅱ)	千葉商大紀要
昭和52年11月	研究開発部門の組織特性と生産性の 関連についての研究	千葉商大創立50周年記念 論文集
昭和52年12月	開発組織の心理学的研究	プレジデント社
昭和52年12月	都市化にともなう住民意識・行動パ ターンの変化	市川市
昭和54年12月	わが国企業における研究者の特性と グループ・ダイナミクスに関する 研究	千葉商大論叢
昭和58年 9 月	相談室活動の現状と課題	相談室年報 1 号
昭和59年11月	カウンセリングのための心理学的人 間像	相談室年報 2 号
昭和61年 9 月	カウンセリングの理論と実際	福祉推進者広報
昭和62年 3 月	教育とカウンセリング	学校教育相談入門 横浜市教職員組合
昭和62年 3 月	カウンセリングの青年心理学的視点	相談室年報 4 号
昭和63年 3 月	スチューデント・カウンセリングの 技法	相談室年報 5 号
昭和63年 5 月	構成的エンカウンター	日本カウンセリング学会 (21回) 研修会資料
平成 2 年12月	構成的グループエンカウンターの実 際	(月刊) 生徒指導, (月 刊) 学校教育相談, 学事 出版
平成元年 3 月	カウンセリング	相談室年報 6 号
平成 3 年 3 月	青年期カウンセリングの諸問題	相談室年報 7 号
平成 4 年 3 月	検査 (YG, TPI) 結果 5 ケ年の推移	相談室年報 8 号
平成 5 年 3 月	恐怖症とそれへの対応	相談室年報 9 号
平成 6 年 3 月	カウンセリングが目ざすもの—健康 な人格について—	相談室年報10号
平成 7 年 3 月	性差の心理学的課題	相談室年報11号

平成8年3月	青年期とカウンセリング・心理療法	相談室年報12号
平成9年3月	カウンセリングが目ざすもの—価値との関係について—	相談室年報13号
平成10年3月	Y-G, TPI検査結果の推移(5ケ年間)	相談室年報14号
平成11年3月	不安の心理・社会的メカニズム	相談室年報15号
平成12年3月	カウンセリングと創造性(I)	相談室年報16号
平成13年3月	カウンセリングと創造性(II)	相談室年報17号

#### 4. 訳書

昭和49年2月	組織のストレス(上・下) 監・訳	産業能率短大出版部
---------	------------------	-----------

#### 5. 学会発表

昭和39年7月	文学作品と作家の年齢に関する一考察	第28回日本心理学会
昭和41年7月	作品傾向の因子分析的研究	第30回日本心理学会
昭和43年8月	女子大生の生き方に関する研究	第32回日本心理学会
昭和45年8月	文学作品の選好に関する研究	第34回日本心理学会
昭和56年8月	自発的相談室利用者の性格特性	第45回日本心理学会
昭和60年5月	大学生の人間関係開発のプログラムに関する研究(その16) —初参加者と再参加者とのプログラム評価の相関について— —初参加者と再参加者とのプログラム評価の比較—(その14) —初参加者と再参加者とのプログラム効果の比較—(その15) —合宿制グループ・エンカウンターにおける知り合いの拡がりについて—(その17) —参加者と非参加者の絵による自己イメージの比較—(その18)	第18回日本相談学会

- |              |   |                 |
|--------------|---|-----------------|
| 昭和61年 5 月    | 大学生の人間関係開発のプログラム<br>に関する研究 (その21)<br>—男子学生と女子学生とのプログラ<br>ム評価の相関について—<br>—男子学生と女子学生とのプログラ<br>ム評価の比較— (その19)<br>—男子学生と女子学生とのプログラ<br>ム効果の比較— (その20)<br>—合宿制グループ・エンカウンター<br>における知り合いの拡がりについて<br>(2)— (その22)<br>—男子学生と女子学生の絵による自<br>己イメージの比較— (その23)   | 第19回日本相談学会      |
| 昭和62年 5 月23日 | 大学生の人間関係開発のプログラム<br>に関する研究 (その26)<br>—high learnerとlow learnerのP. F.<br>スタディの比較—<br>—high learnerとlow learnerとのプ<br>ログラム評価の比較— (その24)<br>—high learnerとlow learnerのプロ<br>グラム効果の比較— (その25)<br>—high learnerとlow learnerの知り<br>合いの拡がりの比較— (その27)<br>—high learnerとlow learnerの絵に<br>よる自己イメージの比較— (その28) | 第20回日本相談学会      |
| 昭和63年 5 月29日 | 大学生の人間関係開発のプログラム<br>に関する研究 (その29)<br>—EPPS性格検査によるpre-afterの<br>差について—<br>—high learnerとlow learnerとの<br>EPPS得点の比較— (その30)<br>—Assertive Behavior 学習の高・低<br>とEPPS得点との関係— (その31)<br>—「目標設定」と「誕生の声」の内<br>容分析— (その32)<br>—絵による自己イメージとEPPS得<br>点との関係— (その33)   | 第21回日本カウンセリング学会 |

平成2年5月26日	大学生の人間関係開発のプログラム に関する研究 (その36) —Y-GテストによるSGEとUGEの比較研究— —構成法と非構成法のYG得点の比較— —構成と非構成グループエンカウンターにおける ASSERTIVE BEHAVIOR学習の比較— —構成的グループエンカウンターと非構成的グループエンカウンターにおける“知りあいの拡がり”の比較— —構成法と非構成法の絵によるイメージの比較— —主に構成的グループエンカウンターを 実践しているリーダーの非構成 グループエンカウンター参加体験意識—	第23回日本カウンセリング学会
-----------	--	-----------------

## 6. その他

昭和63年6月	初任者研修と中堅教師	日本教育新聞
昭和63年9月	教師の生涯学習	日本教育新聞
昭和63年11月	教育情報と職員室	日本教育新聞
平成3年10月	学習集団の形成とその発展	国立オリンピック記念青少年総合センター
平成4年12月	管理者のための職場の心理学入門シリーズ (ビデオシステム) (1)論理療法による部下指導 (2)行動療法による部下指導 (3)問題をかかえる部下に対して	日本生産性本部製作